

2019年5月度 競技・ハンディキャップ委員会 議事録

参加委員 丸山委員・小林委員・増田委員・伊東委員・井出委員
事務局 樋口 越賀 山王

- 1) 支配人ご挨拶（川口委員長欠席の為）
- 2) 関東倶楽部対抗競技会山梨県予選会報告（男子・女子）
 - ・令和元年5月16日富士レイクサイドカントリー倶楽部にて男子・6月4日春日居ゴルフ倶楽部にて女子の予選会開催。委員各位においては、是非応援に駆けつけることが出来るようであれば協力いただきたい旨の要請を行った。
 - ・次年度は、当倶楽部にて男子・女子の予選会開催が決定。当倶楽部への期待が高まっていることを報告した。
 - ・次年度の当倶楽部における関東倶楽部対抗競技会山梨県予選会（男子）は初のセルフプレーによる開催が決定している。フォアキャディ等倶楽部会員の協力も絶対的に必要になる為、改めて競技委員会へ協力を要請した。
- 3) 競技委員立ち合い日程決定（6月～8月）
 - 6月2日（増田委員）
 - 6月9日理事長杯予選（小林委員）
 - 6月16日理事長杯決勝（伊東委員）
 - 7月7日（井出委員）
 - 8月4日（丸山委員）以上を委ねることとする。
9月以降の委員立ち合いは、8月4日開催の競技委員会にて決定する。
- 4) 6月開催理事長杯等確認
別紙競技会要綱の再確認を実施。
- 5) ローカルルール修正案提出（スコアカード参照）
前回競技委員会時に弊社所属山王プロより修正案を起案。
3項の「ラテラルウォーターハザード」の文言を「ペナルティエリア」に変更するぐらいで大きな変更は不要という案の提出を受けており、委員各位に再度確認。
上記内容で承認を得た。
- 6) 前会議における指摘事項の改善報告
 - コース内ティイングエリアの芝の状態が悪い統括キーパーの見解では、今後ティイングエリアの改善は十二分に可能であるとの事。しか

しながら、No 5 Hのティイングエリアはどうしても日照が確保できないため改善には相当な労力がかかる為、試験的に人工芝を張ることとした（施工4月中旬）。

◇委員の感想

- ・人工芝のゾーンの地面が少し柔らかい。
- ・月例時等も積極的に人工芝ゾーンを使用してバックティ等の養生に努めてほしい。

◇コース管理の見解

- ・人工芝ゾーンは比較的硬くなりやすい傾向にあるため（ティが刺さらなくなるレベルまで硬くなってしまう。）やや柔らかくしている。
- ・ご意見通り、競技会等を含め人工芝ゾーンを積極的に活用いたします。

●フラッグの抜き差しの個人差があり、結果遅延を招いている。

◇委員の見解

一部ホールにフラッグの傾きがある。それがなければ皆抜かなくなるのでプレーは早くなる

◇コース管理の見解

カップは全て新品に変えているため以前よりは垂直に立つようにしている。

一方、カップ切が真っ直ぐにできていない状態や、一部フラッグの破損がフラッグの傾斜の改善ができていない原因。今後コース管理の技術向上と一部フラッグの入れ替えを行う。

●No9H グリーン手前 150～100Y 付近の左法面。危険な角度の法面なのでペナルティエリアにしてはどうか？

◇クラブ側の取り組み

該当地点に赤杭を設置。（3月上旬より）そのうえで、委員の皆様へご意見を頂戴した。

◇委員の見解

刈り込みさえきちんとできていれば赤杭はいらないという意見もあったが、法面自体の角度も急であることも鑑みた上で該当地点はペナルティエリアとして継続することとした。

7) その他

●No 1 Hグリーン奥のOBライン・No 17 Hグリーン右のOBラインが不明瞭

◇事務局より

- ・山王プロ監修の元きちんとラインを明確にする。（納期5月中）

●新ルールの啓蒙の為、簡単な図解をカートに乗せてほしい

◇事務局より

- ・JGA配布の資料等より適切なものをチョイスしてカート積載する。（納期次回委員会まで）

●No 15 H右の倒木及び倒木跡について、

◇事務局より

即修理地の扱いする。（納期今週中）

●グリーンの特長部分は「カラー」とみなすべきか「グリーン」とみなすべきか。

◇委員の見解

ウェッジ等で削られないように「グリーン」とみなすべき。クラブ側にも即告知するよう努めてほしい。

◇事務局より

マスター室前にて掲示・告知を行う。

●目土を啓蒙したい。

◇委員の見解

月例時等含め会員が皆の模範になるよう積極的に行動すべき。スタートの際にも「目土の啓蒙」を行う。

◇事務局より

全カートに目土袋をつけ、皆様が目土しやすい環境を整える。

●関東倶楽部対抗山梨予選会代表選手選考基準の見直し。

・現状の月例では「同伴競技者の希望」を受け入れてしまう事から馴れ合いの組ができてしまいスコアにも大きく影響している。この状況で提出されたスコアのみで代表選手を選考するのは聊か問題では？

◇委員の見解

基本的な代表選考基準競技を「理事長杯」「クラブ選手権」「シニア選手権」のグロススコアに絞り込むこととするが、これだけだと選考基準スコアが少なすぎるため選考対象競技会を増やす可能性も示唆したい。

◇事務局の見解

3 大選手権のスコアは選考基準とするが、次回競技委員会時に具体的な選考基準を設定したい。

●研修会立ち上げの件

・一部より研修会を立ち上げていただきたいという意見がある。

◇各位の見解

・現状だと若干時期早々。もうすこしクラブ競技が成熟してからでも遅くない。
・研修会は一長一短ある（他コースには廃止するコースもあるというのも事実。）

8) HDCP調整

別紙の通り、HDCPを調整した。

●ハンディキャップ再調整の件

「ハンディキャップが少なすぎて現状の技量にそぐわない」という会員に向けたルールを決定した。

◇ハンディキャップ再調整

・対象者 現状のハンディキャップが自身の技量に即していない等の理由からハンディキャップ委員会にハンディキャップ増加を含めた再調整の申し出をした会員。

◇ハンディキャップ再調整基準

・直近6カ月で6枚以上のスコア提出（内2回以上月例競技会の成績）に基づき再計算。
・現状のハンディキャップより、最大で前後「2」まで調整します。

※ハンディキャップ増加に関しては年間1回のみとする。

次回競技ハンディキャップ委員会は8月4日。全委員参加願います。

以上